



平成30年3月12日
国土交通省中部地方整備局
富士砂防事務所

ヘリコプターによる富士山全周の土砂流出状況の調査について

富士砂防事務所では、3月5日の大沢川のスラッシュ雪崩および3月8日からの大雨により弓沢川等で土砂流出が発生したことから、ヘリコプターによる調査を行いました。

その結果、弓沢川・風祭川の沈砂地で捕捉された土砂は新たな崩壊などによるものではありませんでした。

1. 内 容（別紙 -1 参照）

3月5日にスラッシュ雪崩が発生した大沢川、3月8日からの大雨により土砂流出が発生した弓沢川等、溪流を中心にヘリコプターにより富士山全周の調査を行いました。

その結果、弓沢川・風祭川流域では、新たな崩壊などは確認されませんでした。このことから、3月8日の出水時に弓沢沈砂地、風祭沈砂地で捕捉された土砂は新たな崩壊などによるものではなく、溪流内にあった土砂が下流へ再移動したことがわかりました。

また、3月5日のスラッシュ雪崩は大沢崩れで発生し、大滝付近まで流れたことを確認しました。3月8日の出水では、大沢遊砂地まで土砂移動の形跡が確認されましたが、氾濫等は生じていませんでした。

富士山全周については、海苔川で土砂移動が確認された他には、顕著な土砂流出は確認されませんでした。

2. 配 布 先：山梨県政記者クラブ、静岡市政記者クラブ、富士宮市記者クラブ、富士記者クラブ

【問合せ先】 国土交通省中部地方整備局 富士砂防事務所
建設監督官 佐藤 慎一
調査課長 鈴木 聡

TEL 0544-27-5221（代表）

FAX 0544-27-5986

ヘリコプターによる富士山全周の土砂流出状況の調査について

弓沢川・風祭川の沈砂地で捕捉された土砂は新たな崩壊などによるものではなく、溪流内にあった土砂が下流へ再移動したものであることがわかりました。

また、3月5日のスラッシュ雪崩は大沢崩れで発生し、大滝付近まで流れたことを確認しました。3月8日の出水では、大沢遊砂地まで土砂移動の形跡が確認されましたが、氾濫等は生じていませんでした。

富士山全周については、海苔川で土砂移動が確認された他には、顕著な土砂流出は確認されませんでした。



① 土砂を捕捉した
弓沢沈砂地



② 土砂を捕捉した
風祭沈砂地



③ 大滝付近のスラッシュ雪崩
起因の堆積物



④ 宮川
(顕著な土砂流出はなし)



位置図